

A. 走行速度の上昇により、二酸化炭素だけでなく、窒素酸化物(NO_x)や浮遊粒子物質(PM)も排出量が減少します。
渋滞が改善されれば、環境負荷が軽減され、燃費も節約できます。

< 走行速度の向上による環境の改善 >

PM、NO_x、CO₂の排出を同時に削減するには、
幹線道路ネットワークの整備をはじめとした渋滞対策による
走行速度の向上が有効です。

時速約20km/hを時速約30km/hに向上させることによりPM等を約2割削減することが可能です。

内燃機関の性格からすると、燃費を改善し、CO₂を低減させようとするNO_xが増大するトレードオフの関係にあります。

